琉球大学学術リポジトリ

ヤップ島寫眞集

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, ヤップ, 写真集 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38134

矢内原忠雄文庫

史　料　名	ヤップ島寫眞集
封筒番号	219
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 11 日
撮　影　者	富士写真フイルム　株式会社
備　　　考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 219

史料名	ヤップ島寫眞集
資料形態	ひも綴じ
枚　数	52
頁　数	104
縦（cm）	19.5
横（cm）	27
厚さ(cm)	
書誌的事項	南洋 天野商店発行 発行年不明 折り込み頁あり 今泉分類記号：

琉球大学附属図書館

1／14

ヤツプ島寫眞帳

天野商店發行

0000954010939

274.3
AM

1/2

ヤツプ島コロニー全景

2/2

1／2

2/2

『ヤップ郵便局』

大正三年占領と同時に、我政府にて獨蘭會社より買收せるものにして、海底線は沖繩縣那覇及び**米領グアム**、**蘭領メナード**間にあれど現在使用中のものは**ヤップ**那覇間のみなり。

『ヤップ支廳』

此の建築物は大正十一年三月竣工し、建坪九拾七坪、工費五萬四千七百八拾壹圓を要したるものなり。

『ヤツプ醫院』

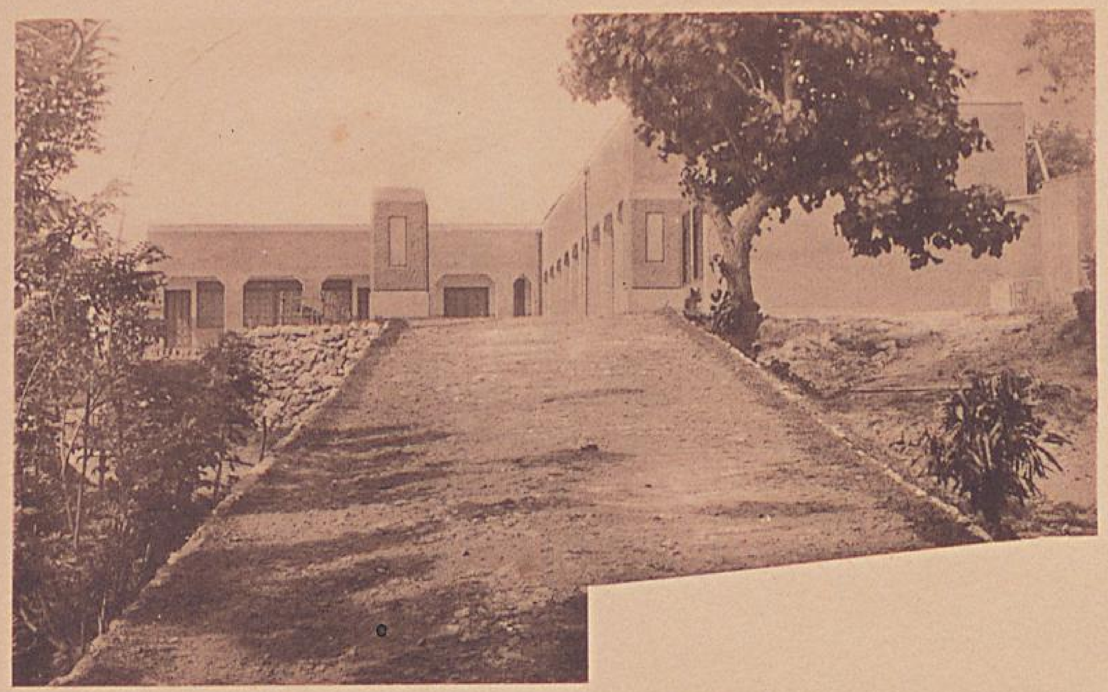
當院には醫官一名、醫員一名、藥劑師一名、助手一名、産婆一名、看護一名の配員あり。患者は一年延人員、邦人二、一五九人、外人三四人、島民六、一七四人にして病類中消化疾患、呼吸器患者も多し、脚氣病、傳染性疾患殆ざなし。

（昭和元年末調）

『ヤツプ公學校』

本校舍は全部**コンクリート**建にて、其の建坪一一四坪七分、工費三萬九千八百圓を要したるものにして、大正十四年十二月の大暴風に遇ひ倒壞せし後に建築せしものなり。現在敎職員六名、收容兒童一九六名なり。

（昭和三年六月調）



『ニフ公學校』

本校は本島南方の僻地にあり。現在邦人訓導一名教授の任に當り兒童數五六名なり。因に本校は建坪六十四坪、工費四千三百圓を要し、大正十一年建築したるものなり。

（昭和三年六月調査）

『マキ公學校』

本校は大正十五年の建築にして、校居其他の材料は島民の寄贈に依る建坪八拾參坪工費一萬一千七百二十二圓餘を費したるものなり。

現教職員四名

兒童數一三〇名あり。

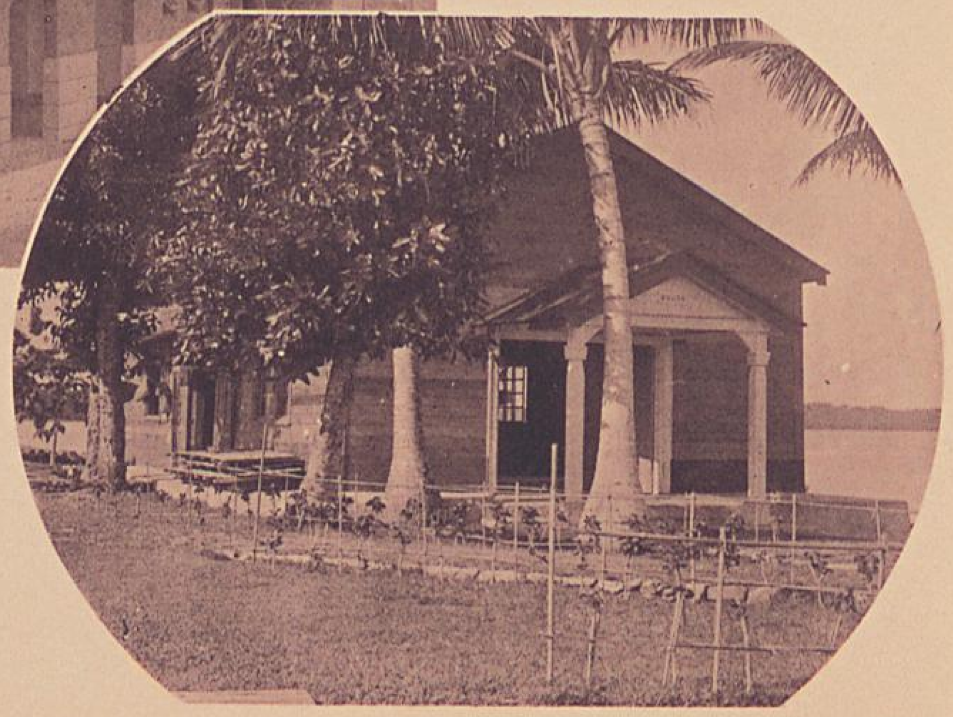
（昭和三年六月調査）

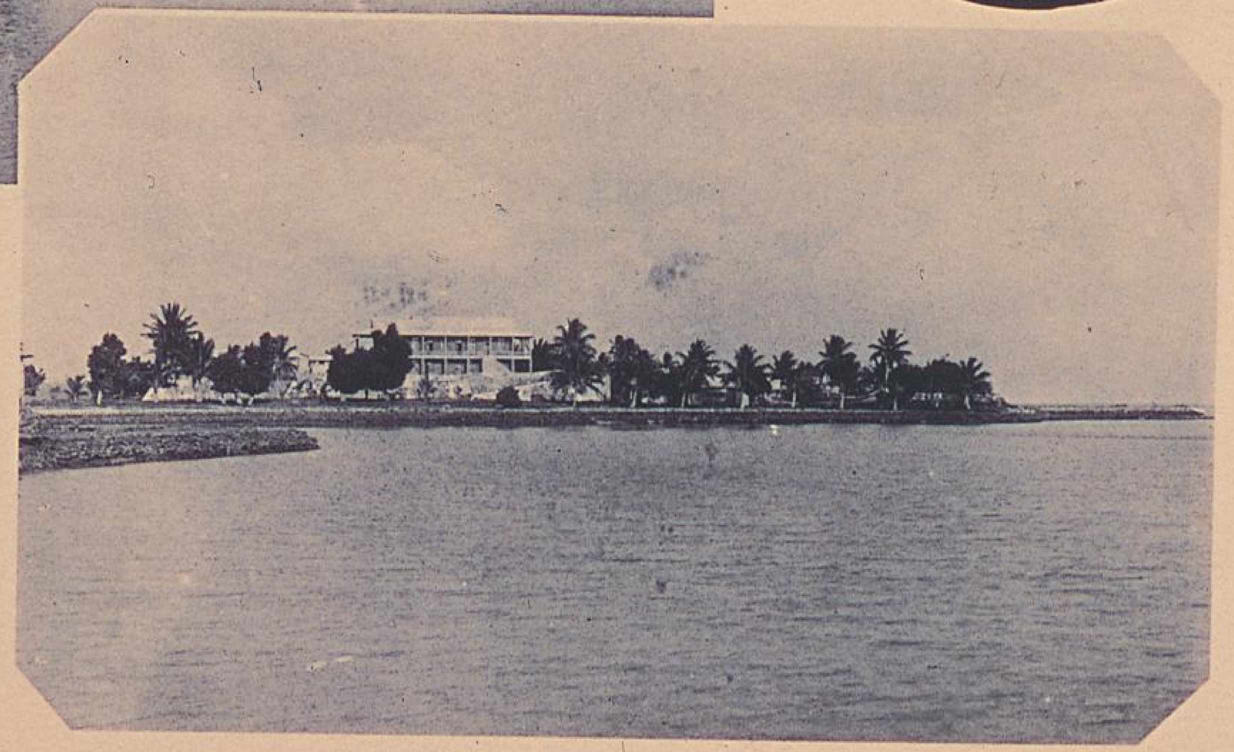
『島民公會堂』

本建築物は**ヤップ**支廳構内に在り、島民等自身の手に依りて作られ、彼等の自由に使用しつゝあるものなり。

『**ヤップ**無線電信所』

舊無線電信所は、大正十四年十二月の烈風の爲めに大破せるため、新に鐵筋**コンクリート**造りにて建設せられ、昭和三年四月竣工せしものなり。





『鑛燐島「フワイス」』

ヤツプ支廳管內離島中燐鑛を包藏すると稱せられ、目下調査中に屬するフワイス島の岸壁實況。

『ヤツプ橋の遠望』

本橋は大正十四年十二月の大暴風に依り破壞されたる爲め改築架設したるものにして、工費參千七百八拾五圓、大正十五年五月竣工せしものなり。

『ヤツプ橋より見たる支廳』

『支廳長官舎門前』

『ヤツプ支廳農場全景』

當農場に於ては、本島農産物の改良と島民の農業思想普及を計らんとする目的を以つて、邦人助手一名、農夫一名を置き、之が試驗を實施しつゝ側ら公學校卒業生を毎年十名宛入場せしめ、簡單なる農業の講習を行はしめ宛あり。

『女子寄宿舍』

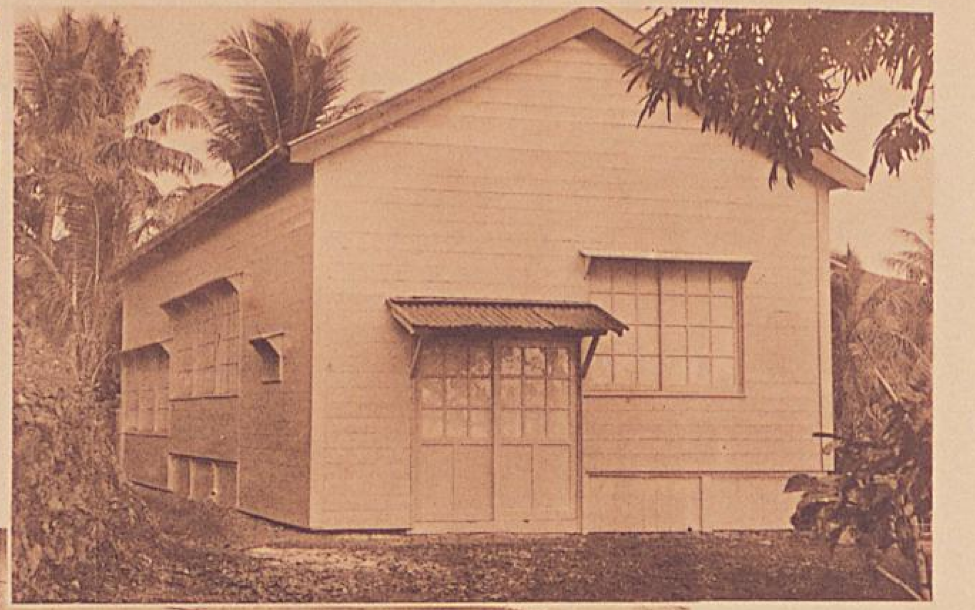
ヤツプ公學校附屬建物の一にして、建坪二十四坪なり。
現在收容人員十五名なり。

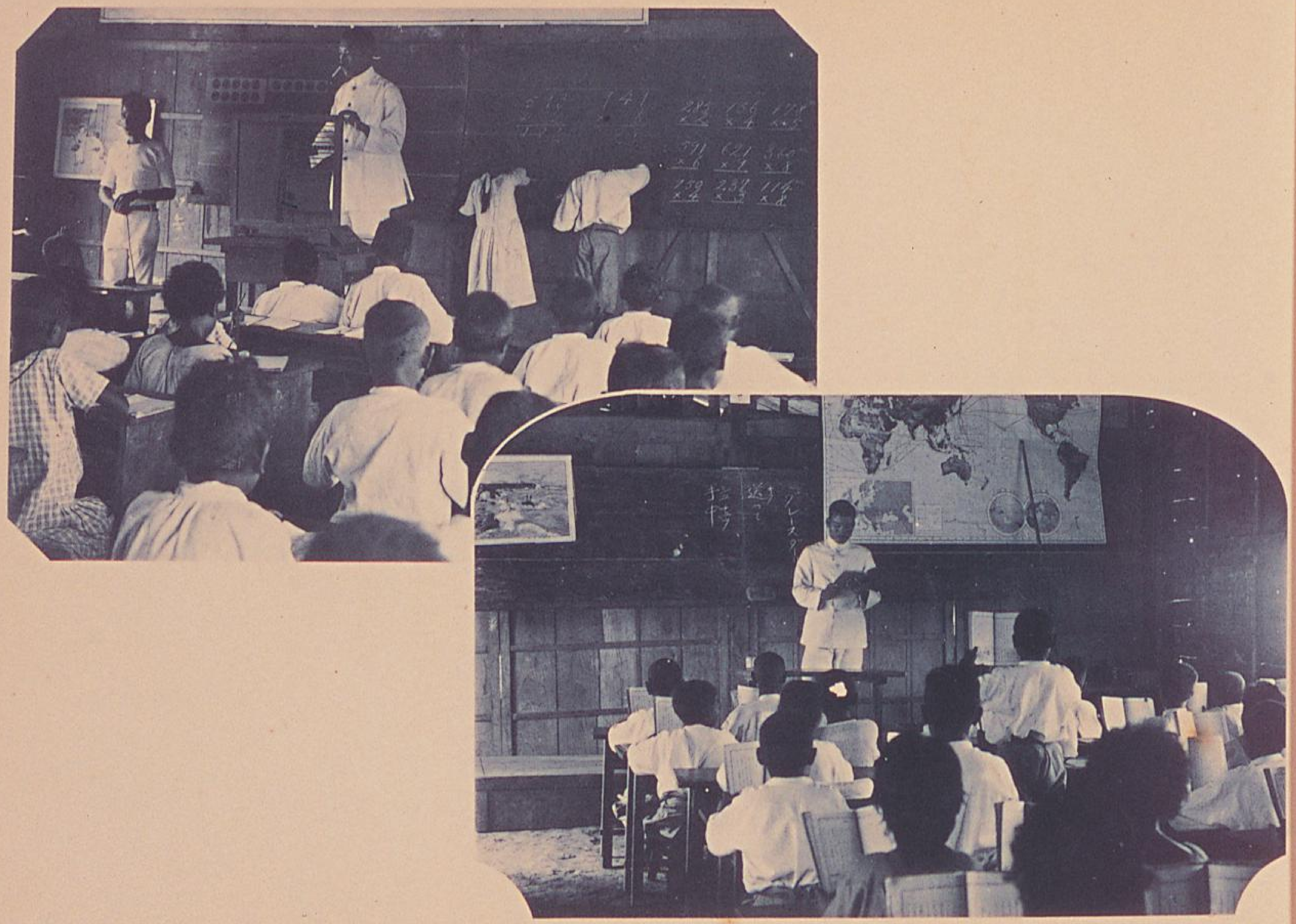
『着服せる公學校兒童』

從來本島々民兒童は、裸体にて通學せしが、大正十五年度より、上級兒童に着服せしむる事となり、現在は全兒童皆着服し居れり。

『管内離島**オレアイ**島兒童』

同島南方分店にて寺小屋式學校を開き、附近別島の兒童を集め、簡單なる敎育を施しつゝあり。





「ヤツプ公學校兒童 算術教授の實況」

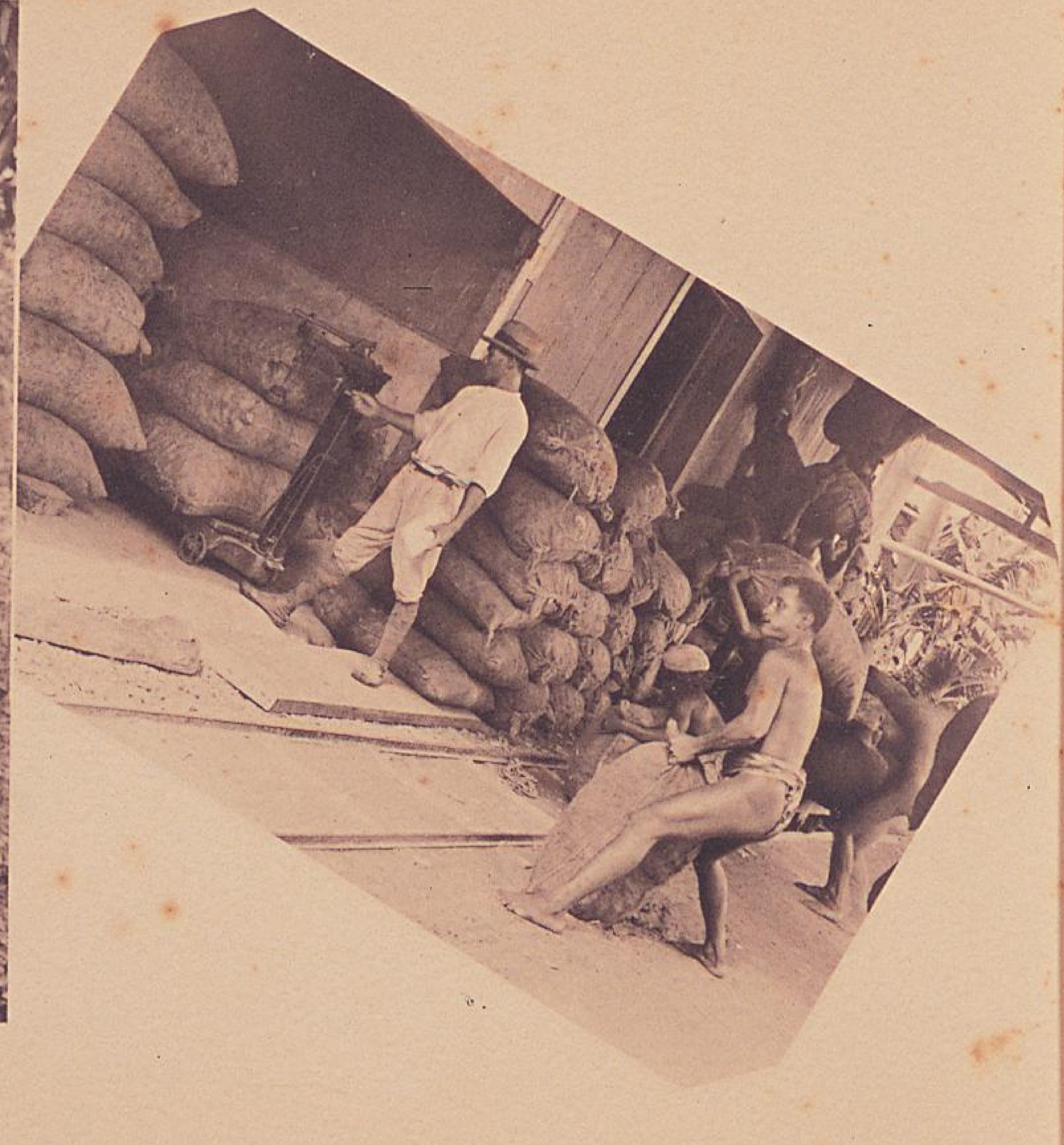
「ヤツプ公學校兒童 國語教授の實況」

『コプラ搬出狀況』

生產したる**コプラ**は島民に依りて製造せられ商店の手によりて麻袋入とし、內地に輸出せらる。

『島民巡警』

公學校を卒業し、能く邦語を解し、品行方正なる者を採用せらる。



『道路の除草』

各村落間を通ずる道路の一部にして、獨領時代、道路の改修に意を注ぎたる爲め、本島主要道路は比較的良好なるも、其支路は雜草繁茂して通行に不便なるを以て、各村落に於て島民相互に除草手入をなしつゝあり。

『椰子林』

椰子林は島民食糧唯一のものにして、又本島産物の主位を占め、官に於ては鋭意之れが增殖と改良とに盡力せられつゝあり。

『フワイス島内椰子林』

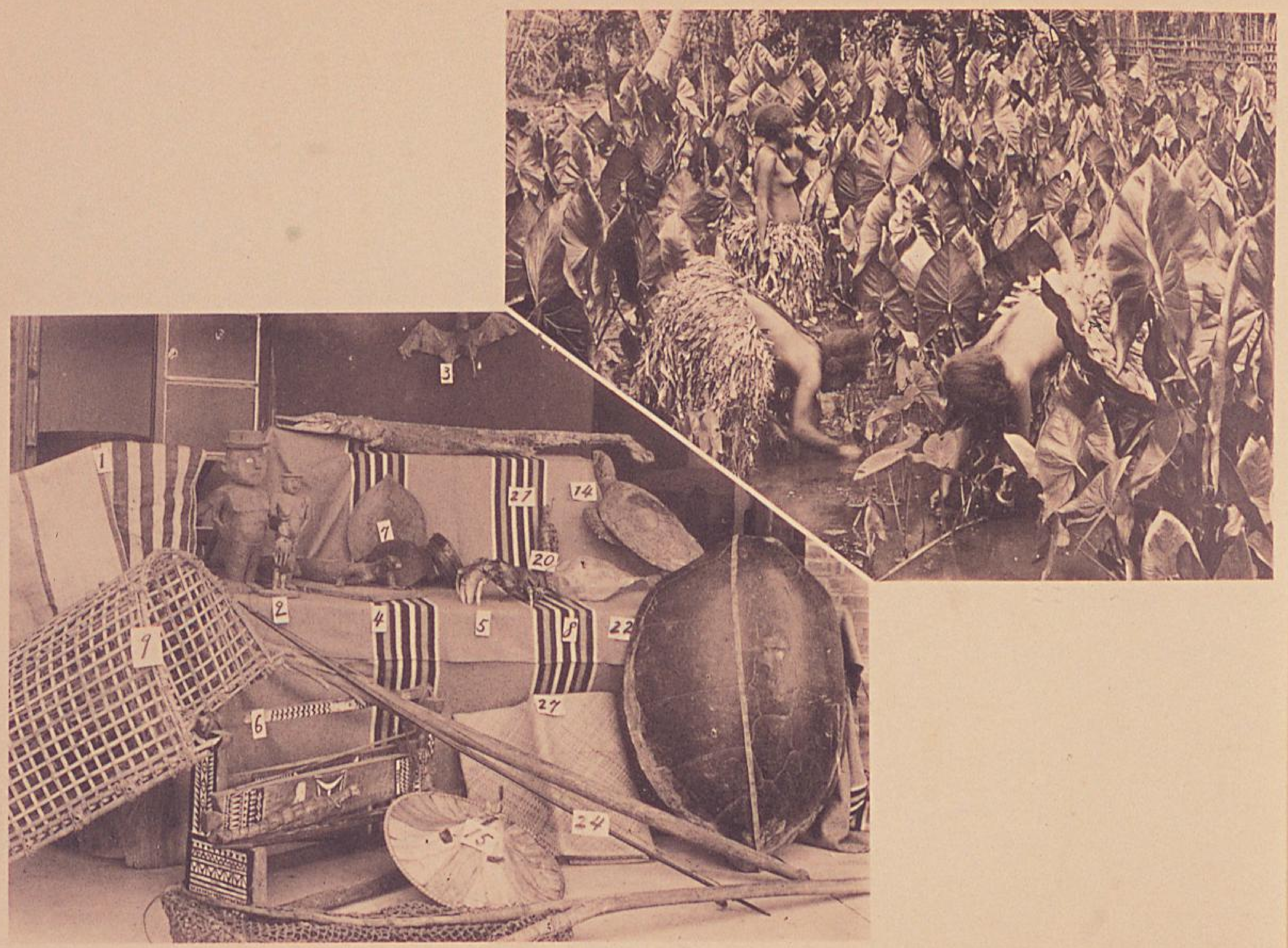
本島面積は約二百三十町歩あり。殆ど椰子林を以つて蔽わる。

右椰子林は民有、官有に分たれ、官有林は**コプラ**年産平均十五噸位あり。

『コプラ製造狀況』

本島の椰子果は一樹年產約二十乃至四十個にして、一噸の**コプラ**を製するに大なるは三千個、小なるは六千個を要す。
本島は大正九年より數回に亘る大暴風襲來せる爲め、其生產頓に減じ、未だ回復を見ず。
因に、本島**コプラ**生產最高記錄は、約八百噸とす。

『結實せる椰子樹』

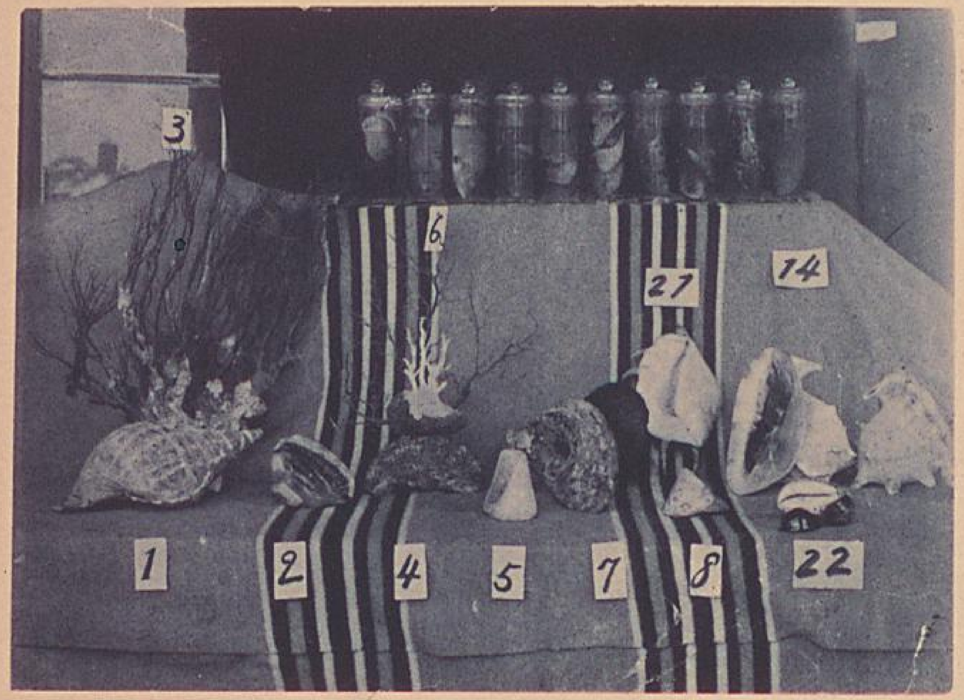


『タロ芋田』

タロ芋は本島々民主要食糧の一にして、その大なるものは葉莖**七**、八尺。根塊四、五貫に及ぶものあり。

『産物』

(1)離島々民の腰卷及褌　(2)離島々民作製人形
(3)本島産蝙蝠　(4)本島産蜥蜴
(5)本島産椰子蟹　(6)離島民腰卷の機織器
(7)本島民食器　(8)本島産ふぐ
(9)本島在來漁撈籠　(14)龜甲
(15)島民使用笠(**タコ**の葉)　(20)離島産葉煙草
(21)**パマオ**島産鍔　(22)本島産正覺坊
(24)本島往古使用の戰鬪具槍及弓
(25)本在來の手網



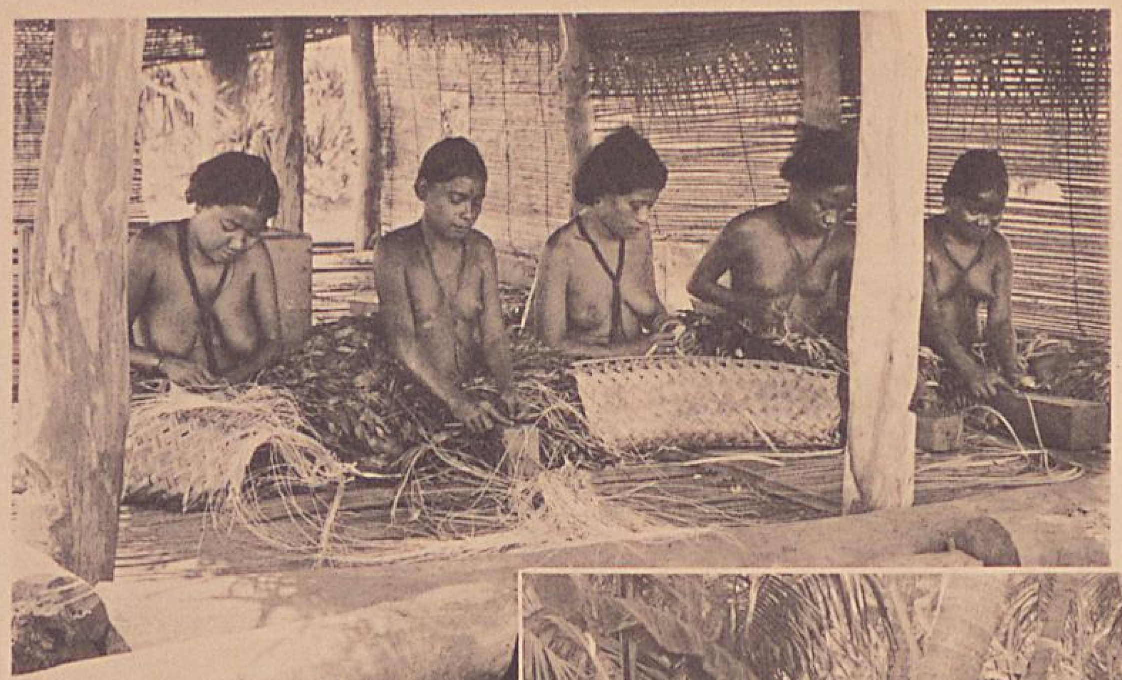
『本島農産物及通貨』

(1)石貨。(2)密柑。(3)南瓜。(4)**タコ**の實。(5)**パパイヤ**。(6)**ボーイ**の實。(7)貝貨。(8)西瓜。(9)**パン**果。(10)**バナナ**。(11)**パインアップル**。(12)**ドリヤン**。(13)筍(14)椰子果。(15)甘蔗。(16)檳榔樹の實。(17)**タロ**芋。(18)**シヤシヤップル**。(19)**マンゴー**。(20)**アルフワス**。

『産　物』

(1)本島産**ホラ**貝
(3)本島産海松
(5)筍　貝
(7)
(21)蜘　蛛　貝
(13)各種の貝

(2)離島産萬年貝
(4)珊瑚の一種
(6)海松の一種
(8)高　瀬　貝
(22)**コヤシ**貝
(14)本島産類



『島民男子舞踊の一種』

島民は舞踊を最も好み、哀調の音頭に和して月明の夜、踊り明すことしばしばあり。

『組編業講習』

ヤツプ支廳に於ては、島民改善奬勵金を下附し、本島々民女子職業奬勵の一として、組編業講習會を開き、椰子葉を漂白せしめ、之れにて、帽子、煙草入等を作製し、販賣せしめつゝあり。

『島民模範家屋』

島民家屋は、陰濕にして通風惡く、保健上適當にあらざるを以って、**ヤツプ**支廳に於ては補助金を下附して、各村に圖の如き模範家屋を建設し、以って島民在來の家屋の改善を計りつゝあり。

『島民男子舞踊の一種』

各自竹棒を持ちて四人一組となり列を造り、矢張土民歌に和して棒を巧みに叩き合ひて踊るなり。

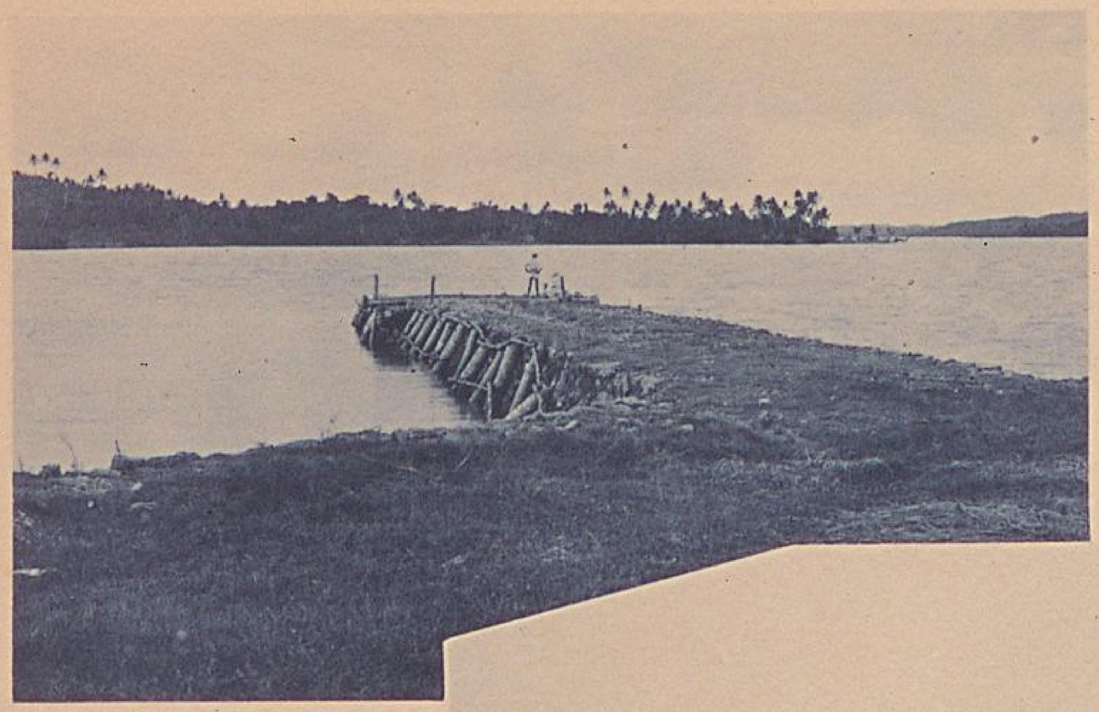
『島民女子舞踊の一種』

全身を赤、横に採色し歌と共に踊る。

『タガレン水道』

本水道は獨領時代に交通上の利便をはかる爲めに開鑿されたるものにして、それを作るに日々數百人の島民を使役し完成したりと云ふ尙本水道開鑿に從事せざりし島民の通行には總べて通行料を徵收したりと傳へらる。

『ヤップ支廳北阜頭より トミル平原を臨む』



『島民集會所遠望』

『島民出漁の狀況』

本島々民は圖の如き竹籠と手網を使用して、漁撈をなす。竹籠は入口を扇形にしぼめ一度入りたる魚は再び出でざる仕掛とし、これを海底に沈め數日の後引き揚げ漁獲す。

『迫　込』

本島在來の漁撈法の一にし、竹及金網を以つて之を作り、三方に長く扇形に柵を張り、其の柵の集合点に四方形の柵を廻らし、魚群の自ら入り再び出でざる仕掛とす。其の有効期間五ヶ月内外とす。

『島民集會所』

島語「**ガバイ**」通常**オウルメンハウス**と稱し内部の柱は全部玉名材を用ひ、大なるものは其の周圍五尺以上に達するものあり。又一本の釘をも使用せず全部椰子繩にて組立つ。昔時一村の男子集りて他村と爭鬪せしものにして其の窓の構造など日本の城窓を偲ぶものあり。

習慣として女子は絕對に出入を許さず、寫眞は本島最大の集會所にして、竣工實に十ヶ年の歲月を要したりと云ふ。

『島民家屋と島民』

屋根は椰子葉又は**タコ**の樹葉にて葺き、間口一、二間。奥行六、七間のもの多く、室內は檳榔樹を割きて敷き並べ或は土間とす。島民は斯くの如き軒低く窓狹く蔭濕の家屋に起居す。

『家屋の新築』

本島々民の家屋は簡單なる堀立小屋式家屋にて柱材は玉名、**オカル**、**パン**樹等を用ひ床を造る事なく、單に檳榔樹等を割りて、それを土間に敷並べ、屋根は椰子又は**タコ**の樹の葉を以つてそれを葺き、之等には一本の釘を用ひず全部椰子繩にて組立てらるゝなり。

『古來よりの風俗』

男子の手に持てるは島民の製造せる土鍋にして鐵鍋等移入せざる以前は凡て之れに依りて煮炊きしたるものなり、現在も使用されつゝあり。

『ヤツプ支廳管内離島女子』

ヤツプ本島女子の腰箕を着するに反し、離島女子は腰卷を着す。

『新舊島民の對照』

本島々民、其の性、固陋にして、容易に文化に順應せず、裸体、跣足を常とするを以つて官に於ては酋長の着衣奬勵、公學校兒童被服費の増額等不絶に之が改善に努めつゝあり。圖は、この實施の狀況を寫したるなり。

『島民家族團欒の狀況』

島民は夜を晝となく相集りて團欒するも、其衣食住は嚴重に區別せられ、女子は卑下なるものとし、男子は同居せず、而も決して同席して食事をとることなし。

『**カナカ**族の墓』

本島**カナカ**族酋長の墓

墓は土を盛り長方形となし、周圍は石垣にして二段乃至三段となす、大きさの大なるものは巾九尺横二間半に及ぶものあり。

『**チヤモロ**族の墓地』

本島**チヤモロ**族は、總て**カトリツク**敎に歸依し、墓地も凡て**カトリツク**敎會によりて監理せられつゝあり。

『**カヌーの一種島語チヨコベン**』

これは主として、海外に出漁し、飛魚の漁獲に使用す。

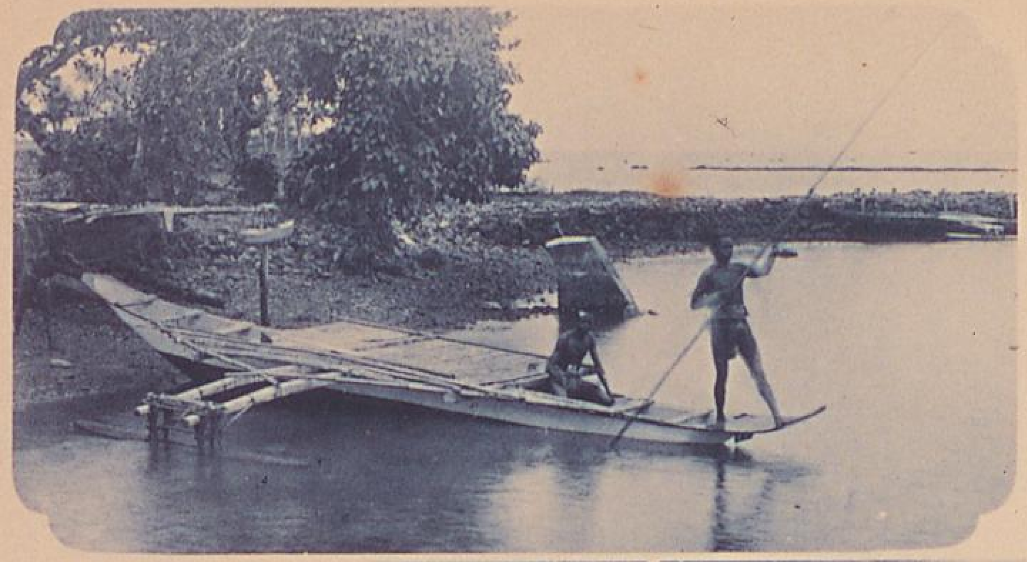
本島男子これにて出漁するときは、集會所に籠りて、絶對、女に近付く事を得ずとせられつゝあり。

『**カヌーの一種島名ポツポ**』

航海用として唯一のものにして、往時、他島との交通は之を以つて行はれ、現在に於ても彼等島民の海路交通に使用らせれつゝあるものなり。

『**カヌーの一種島語ソワブ**』

これは主として荷物の運搬に使用せられつゝあり。



『山芋栽培狀況』

本島の山芋は島民主要食物にして、その栽培は婦女子の仕事とせられ、芋の大なるものにありては一個の重量五貫匁位のものあり。

『ヤップ支廳附屬農場の一部』

目下試作中の內地產粟栽培實況なり。

不許複製

定價金貳圓五拾錢也

編輯兼發行人 南洋ヤツプ島コロニー 天野代三郎

印刷所 大阪市南區長堀橋南詰東 飯田十字館

製本所 大阪市東區博勞町五丁目 河原寫眞アルバル製造所

發行所 南洋ヤツプ島コロニー 天野代三郎商店

返却期限票

○ 最後にある日付があなたの返却期限です。
○ 遅れないように期限内に返却しましょう。
○ 続いて借りたいときは届け出てください。

03.7.01		

0000954010939

貴重書庫に
返却のこと。

挿入文書

0000954010939

274.3
AM
矢内原文庫